



こんにちは

# 村田 けい子

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

移動事務所 090-9144-8534

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

2022.4.3

№346

【3.28 臨時議会・補正予算より】3億2600万円余  
新型コロナウイルス対策 地方創生臨時交付金1億円  
+デジタル田園都市国家構想推進交付金  
12月までに業者選定、カスタマイズなどして来年  
1月から運用できるように準備を進める予定。

## 全戸に一台タブレット、 来年1月から運用予定

《事業費》 2億円

### (1)ハード経費

- ・タブレット端末購入費2,500台 1億2460万円
- ・操作用端末等(配信用PC) 60万円

### (2)ソフト経費 7,540万円

- ・システム構築費用 6,465万円
- ・住民説明会(40回×12.5万円) 500万円  
(業者から説明会を手伝ってもらう費用・・・村田訊く)
- ・システム運用保守料(3か月)
- ・LTE(携帯電話)回線通信料(3か月) 470万円
- ・オンライン地図機能ライセンス料(3か月)5万円

### 《財源》

- ・国庫補助金 (1億円) 1億円  
(デジタル田園都市国家構想推進交付金)
- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生  
臨時交付金 8,000万円
- ・一般財源(または地方債) 2,000万円

## 《来年度予算より》

- 地球温暖化防止経費776万円
- ・脱炭素社会に向けた啓発情報誌年4回発行  
住民・事業所の取り組みの紹介など
- ・蓄電システム設置費補助 100万円  
上限10万円
- ・クリーンエネルギー自動車購入補助 20万円  
上限10万円
- ・V2H システム設置 300万円  
電気自動車の電気を家庭用に使えるよう設備  
する工事に補助 上限10万円
- ・太陽熱給湯システム設置補助 上限10万円
- ・住宅断熱性能向上リフォーム 300万円  
補助率1/4 限度額20万円

## ロシアによるウクライナ侵略抗議

### 佐久地域全域いっせいスタンディング

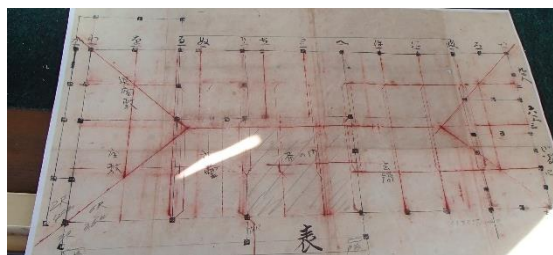
\*4月3日(日) 10:00~10:30

ツルヤ立科店東交差点(白樺高原入り口)

ぜひ、お集まりください!



## わら細工でドールハウス



今週のパチリ!

再現してあります。水車も水の落ちる樋  
(トイ)も忠実に再現。ちゃんとくるくる回ります。

傍らには米俵を担いで歩く村人が添えられて  
いました。ちゃんと蓋(棧俵)もあり、俵も細  
いわらで編まれていました。

さらに、自分の家の設計図(右図・江戸時  
代)が物置から発見され、それを基に厚紙で自  
宅を再現してました。まさに名人技です。



コロナ感染者が毎日のように報じられ、春  
の湿った雪にも閉じ込められて、しばらくぶ  
りにわら細工名人を訪ねました。なんとわら  
細工が進化して、藁屋根や紙で家屋敷を再現  
しドールハウスを作っていました。

ちゃんと戸も開け閉めできるし、屋根をと  
ると家の間取りがわかります。

庭には井戸、しかも鶴瓶は細いわら縄を使い  
滑車は厚紙、そして桶は竹の細い茎を切って

# 全戸にもれなくタブレット\*、有線放送に代わり2億円補正 議会での十分な質疑の時間、確保されず。乱暴な進め方に疑問。

(\*ノート型の入力装置や情報端末)

## 【経過】

3.17議会最終日の議会全員協議会で、突然、有線放送に代わる情報伝達手段として、ノート型のタブレット端末を配備したい旨の報告があり、2億円の予算であること、4月から作業に入りたいので3月中の臨時議会で議決してほしい旨の報告がありました。

現在使われている有線放送は、町内のあらゆるイベントや取り組み、子どもたちの声、農作業ポイントなど幅広い話題をお茶の間に届け、地域の情報共有に大きな役割を果たしてきました。機械設備の老朽化に伴い修理の部品がなくなっている事態であり、すでに1系統は故障、残る1系統もいつ壊れるかわからないと有線放送本部から言われたそうです。

12月本会議での質問にも、「有線放送に代わる媒体を研究中」とのコメントがあり、いずれ、検討状況が報告され、議論されると考えて居たところ、「国の募集に応募し、採択となったので実施したい」と事業の概要が報告されました。本来ならば申請前に議会に相談・報告があり、一緒に考えるべきところではないでしょうか。

## 【どこが問題？】

パソコンなどには触れたこともない高齢者世帯にまで一律配置し、「いったいどんなものか」、「使い方がわかるまで説明してくれるのか」、「配置されても利用されるのか」など疑問は次々と沸き起ります。

しかし、十分な説明もないまま、「国から事業採択されたので、認定を」というのはあまりにも乱暴であると考え、改めて23日に全員協議会を開催してもらい説明を求めました。

すでに国より立科町の事業が採択されてからの説明であり、議会として、これを否決すれば町の信用がなくなる恐れがあると考え賛成しました。28日議決。

有線放送に代わる情報伝達手段として、私も、「タブレットという全く目新しいツールではなく、どこの家にもあるテレビを活用して『たてしなの時間』などの番組を朝、昼、晩に流したらどうか」など提案しましたが、国による「行政のデジタル化を推進する事業

にだけ補助する事業」（緊急防災減災事業）であるのでタブレット購入に至ったとのこと。

本来なら「コロナ対策と合わせ合計3億円を超える大型の町民全員にかかわる事業であることから、委員会を開き詳細に議論することが必要ですが、本会議即決となりました。

本会議では、「委託料が1億9500万円であり備品購入費、委託費など詳細がわからないが」との質問や私も「40回の説明会で十分か」「説明会に不参加者への対応」や「いないという人への対応」、「壊れた時にどうするか」「事業効果の検証は」など質問あり。役場職員が対応するとの答えを得ていますが、2億円も投じる全住民にかかわる事業だけに、十分な効果が出るよう体制づくりが求められます。

## 【今後の展開】

村田の調査によるとこれから、役場担当が「どのような機能を持たせるか」、「アフタケア」などの仕様書を作り、それに基づき納入業者を指名し、選定。

納入業者は①納品②町の要望に基づくカスタマイズ（手を加えて都合よく作り変えること）③住民説明会で利用できるように支援することなどを一体業務として受注します。（プロポーザル選定）

### 【タブレット型情報端末設置について】

- ・各戸1台配備、家庭用コンセントで充電
- ・5年間は無償貸与・通信料は町負担
- ・説明会は40回ほど、会場で機材を配布。
- ・来られなかった人には郵送で配布。説明書を同封し、わからない時には職員が対応。

### 《機能》

- ・町からのお知らせ到着サインや緊急時の音でのコールサインが鳴り響き、タップ（手でポンと触る）すると情報画面が開く。
- ・音声での案内ができる。
- ・町ホームページなどにアクセス（つながり・接続）し、情報を得られる。
- ・問い合わせ情報を配信し、応答の操作で高齢者の見守りができる。
- ・災害時など画像を町本部に送れる。
- ・アンケート機能がついているので、町民の声を直接拾える etc.